

酒造技術の指導者

花岡 正庸

はなおか まさつね

出身地 長野県中野市

1883年（明治16年）～1953年（昭和28年）

硝酸塩しょうさんえんの使用や低温による発酵はっこうの制御、吟醸酒ぎんじょうしゅの

奨励しょうれいなどで、秋田の酒造法を大きく前進させる。

初代秋田醸造試験場長じゅうぞうを務め、秋田銘醸株式会社めいじょうかぶしき

創立そうりつにも協力。書や俳句はいくにも優れてすぐいた。



年譜

- 1883年 長野県中野市ながの なかのに生まれる。
- 1907年 大阪高等工業学校卒業。
帰郷して家業の酒造りを手伝う。
11年、火災で酒庫、住宅等失う。
- 1913年 官界に投じ、丸亀税務監督局鑑定部まるがめ かんとうきよくかんていぶ きんむに勤務。
- 1918年 仙台税務監督局鑑定部せんだいに勤務。
- 1922年 秋田銘醸株式会社めいじょうかぶしき設立、顧問こもんとなる。
- 1932年 秋田県醸造試験場長じゅうぞうとして仙台せんだいより赴任ふにん。
- 1942年 退職。秋田銘醸株式会社めいじょうかぶしきの取締役兼技術部長とりしまりやくけんに就任しゅうにん。
- 1953年 由利本荘市（旧矢島町）やしまで没ぼつ。69歳さい。